



鞠の浦学園だより



No.8
2021年(令和3年)7月20日

チャレンジウィークを実施しました!

7月12日(月)~14日(水)の3日間、8年生はチャレンジウィーク(職場体験学習)を行いました。新型コロナウイルスの影響で生徒の受け入れが難しい状況もある中で、貴重な体験の場を与えて下さった事業所の皆様に改めて感謝申し上げます。3日間を通して、生徒達は社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことについて考えることができました。地域をテーマに課題を見つけ、解決に向けて探究する学習活動はこれからも続いていきます。今後ともご協力よろしくお願い致します。



【生徒の報告書より】

知らないことに出会い、感動・感謝できる姿は素敵だ!

~子どもの良さや成長を認め、やる気の持てる懇談に!~

真夏の太陽が輝き、夏本番になってきたようです。熱中症が心配になります。体調管理には十分に気を付けましょう。

ところで、1学期も終盤です。暑さに負けず、一生懸命に学んでいる姿を見ます。8年生は先週3日間、職場体験学習を行いました。輝いている一人の生徒を紹介します。事業所の体験が終わり、学校にやって来た生徒に「知らないことをいっぱいメモしました!」と、手帳とオペ室に着て入ったオペ用の服を見せてもらいました。その生徒の思いをいくつか紹介します。

- ・病院という一つの施設の中で、様々な職種の人が働いている。
- ・職はちがえど、同じチームとして働いている。
- ・お年寄りが多い。手術室はドラマで見たもの、そのものだった。
- ・学べる事が本当に多いので、7年生は行き先をよく考えて選んでほしい。
- ・私が学んだことをすべて伝えてあげたい。他学年や先生達にも、学んだこと、分かったことを伝えられたらいい。



対応して頂いた事業所の方から、体験中の様子を知りました。

- ・いろいろな場面で聞けた「ありがとうございます。」
- ・病院の仕事のやりがいや楽しさを広めたい。
- ・親を尊敬するし、感謝している。「めっちゃよかった!」
- ・たくさんの気づきがあったようです。今後も頑張ってくださいね!

知らないことに出会い、心が揺さぶられ、好奇心が湧き出る「学び」は貴重です。人生を左右するかもしれません。さらに、学んだことを他者と伝え合ったり、学び合ったりすることで世界が広がります。

ここに、「学び合う」良さがあります。知らない世界は山ほどあります。苦手意識を持たず、様々なことに挑戦してみる。そうした中で、自らの感性や人間性が磨かれていくのかもしれません。

他人と比較されたり、「できる、できない」で判断されたりすると学ぶ意欲は育ちません。来週は懇談を予定しています。子どものよい点や成長を積極的に認め、これからも「頑張るぞ!」「頑張っ!」と子どもも我々大人も、共に意欲が持てる懇談にしましょう。

衛生管理は、とても大切だということと、一つ一つ丁寧に作業することで後々次の工程をする人も助かるしその商品を買う人も良い気分になれるので、速さも大切だけれど作業を丁寧にすることも大切だとわかりました。

こども園では小さい子たちと目線を合わせて話したり、寝かしつけたりと自分ひとりの意思ではかんたんに動けません。しかし、その反面子どもたちの笑顔を見ると、保育士さんはやりがいのある仕事なんだなあ実感しました。今の自分達とは考え方や行動が全く違うので、自分にとっても成長になりました。

4年生が「ようこそ美術館プロジェクト」に参加しました!(ふくやま美術館)



絵画の素晴らしさを肌で感じる事ができました。図工の授業などに生かせるといいですね。

壮行式が行われました。

県選手権(18日)&秋季総体(24・25日)



学園会主催の壮行式がオンラインで行われました。最後まで粘り強く戦い抜いてください! みなさん応援よろしくお願いします。

